



継続してこの課題解決に努力しましょう。

園長 山下勝弘

白河めぐみ学園・白河こひつじ学園関係用地の除染作業が終了し、平成27年8月から乳幼児を支援する共生型福祉施設白河まきびとセンターが活動を開始しました。これによって、白河めぐみ学園・白河こひつじ学園のこれまでの働きとともに、この地域社会で、0歳児から満20歳までの児童支援センターとして機能することになりました。しかし、直面している課題はまだ多く残されています。

特に緊急の継続している課題は、学校の高等部を卒業して学園で生活し満20歳を迎える在園児童のこれからの進路です。多くの児童が、自分の希望する生活を実現することが困難な状態に置かれています。

その大きな理由は、社会資源の不足です。児童自身の問題よりも、それぞれの児童が利用できる社会資源、生活環境がまだまだ不十分な状況です。学園卒園後の生活を考え、児童が努力し職員も支援してきた計画とその内容を、実現することが不可能な状況です。満20歳を迎える児童の問題は、児童、職員、家族、また関係者にとって深刻な課題といえます。

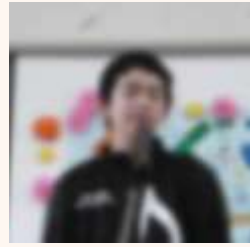
「自分が希望する生活を選び、それを実現する」ことは、基本的人権です。この権利が侵害される状況は依然としてつづいています。平成28年度の新しい年度を開始するにあたって、これまで以上に、基本的人権を侵害する社会資源の未整備という課題解決に、わたくしたちは一層強い認識をもち、具体的な働きを協力して拡げていきましょう。

送別会



3月に卒園児童の送別会を行いました。参加した全員が、お互いに大切な友達との別れを惜しみながらも、心の中ではいつも一緒だと約束し、励まし合いました。卒園生さんはこれからも自分らしく元気に頑張ってください。

めぐみコンサート



3月1日にめぐみコンサートを開催しました。児童全員が参加してとても楽しい催しとなりました。歌やダンス、お笑いのネタなど、それぞれ得意なものを披露しました。

誕生会(1, 2, 3月)



1月25日、2月15日、3月7日に誕生会を行ないました。みんな素敵なプレゼントをもらって喜んでいました。会食では楽しい雰囲気ケーキを頂きました。

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組めます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

